



逞しさと品格のある、誇り高き西中学校をめざして・・・!

校長 野村 幸弘

今年度、本校に赴任してまいりました校長の野村幸弘です。これから様々なことでお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

この4月には、新1年生167名を迎え、2年生176名、3年生193名の全校生徒536名でスタートしました。すでに1ヶ月が過ぎ、日々いろいろな体験を積みその中で、少しずつ成長していく生徒の姿を楽しみにしながらの毎日です。一人ひとりの生徒には、大切に育ててこられた保護者の皆様のご苦労があり、喜びがあり…、そんな皆様を思うとき、学校でも一人ひとりの生徒を大切に、可能性を広げ、真っ直ぐに力強く成長してくれることを願って、一生懸命頑張っていきたいと心引き締まる思いです。また、本校は、地域の方々にお世話になり、お琴の演奏や囃子（しゃぎり）、遠州流茶道など伝統文化学習に取り組んでいます。このような取り組みは、文化の香り漂う本校独特の空気を醸しだし、西中生の感性を磨き、澄んだ情緒が西中生の日頃の生活に落ち着きと潤いを与えています。先輩達に続き、さらに品格のある西中生に成長してくれることを願っています。

修学旅行の思い出

3年4組 川上 莉子

私は修学旅行を通して、改めてクラスの友達との絆が深まったなと思いました。初日の新幹線ではUNOをしたり、お菓子を交換したり、終始笑いがとまりませんでした。東京に着いたら、大都会を目の当たりにして鳥肌が立ちました。テレビの世界が広がっていて、ドキドキがとまりませんでした。国会議事堂やスカイツリーなどを周り、初日の最後は、帝国劇場でミュージカル「バスチーユの恋人たち」を観ました。出演者の演技に引き込まれ、とても話もわかりやすくおもしろかったです。劇場とかは、初めてだったので、わかりにくいかんと思っていたのですが、実際に観ると真逆で、話もわかりやすく、面白さもあり、しっかり内容を掴むことができました。最後の観客への礼の時に、出演者の方が私たちに3回も頭を下げてください、すごいなと思いました。私も何事にも感謝しないとイケないと思いました。



2日目の午前中は、伝統文化講座で、江戸風鈴を作らせてもらいました。難しかったけど、プロの方がサポートくださり、満足のいくものに仕上げることができました。そして、浅草の浅草寺にも行きました。雷門も見たしおみくじをしたり、顔より大きいメロンパンを食べました。まだ行けなかった通りとかもあるので、また、機会があれば行ってみたいです。そして、一番の楽しみだったディズニーランド。入る前に、不要品を持ってきている人がいたので残念でした。みんなに迷惑が掛かることを自覚して欲しかったです。でも、入場してからは、イライラも吹っ飛ばすくらい楽しくて、夜のディズニーを満喫しました。おみやげも買ったしパレードも見られて、大満足でした。

3日目は、班で横浜を散策しました。班のみんなとは仲も良く、歩いている時もずっとおしゃべりをしていました。何より赤レンガの写真が撮れたのは、私の意見をコースに入れてくれた班のみんなのお陰なので、感謝したいです。中華街もおいしいものを食べて、楽しかったです。

こんなに楽しい修学旅行になったのは、計画してくださった先生方や旅行会社の方々、お父さん、お母さんのお陰です。本当に感謝したいです。

◆ 修学旅行を終えて ◆

「東京・横浜の魅力発見、長浜の魅力再発見」のスローガンのもと、3日間の修学旅行が無事に終わりました。一部に不要品を持ってきて、みんなに迷惑を掛ける人がいたり、最後の集合時間に遅れる班があったりして残念でしたが、全体には素晴らしい行動ができ、添乗員の方にも「素晴らしい生徒さんですね」と、褒めていただきました。良くなかったことは、学年の課題として、今後に生かしてください。同じ過ちを繰り返さないように…。

サッカー 岡崎選手のレスター優勝!

～ 目標をもって頑張れば、私たちにも何かができるかも～

岡崎選手は、Jリーグの清水への入団時は、期待されていなかった。

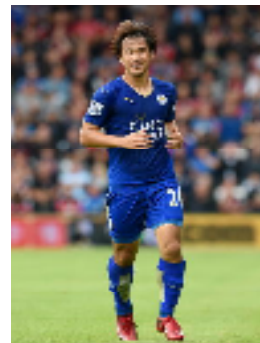
サッカーの母国で頂点に立った岡崎のキャリアは底辺からのスタートだった。滝川二高から清水入りした05年にスカウトだった興津大三氏（現アーセナルサッカースクール市川GM）は、プロ野球・巨人のV9時代の抑えの切り札・宮田征典投手になぞらえ“8時半の男”として期待していたという。

「正直、プロでスタメンを張れる選手とは思っていなかった。後半30分以降に出てゴール前にどんどん突っ込んでいく役割。スーパーサブのイメージで獲得しました。ナイターの試合が午後7時キックオフとして、野球の抑え投手ではないけど“8時半の男”ですね」と振り返った。

清水入団1年目はFW8人中で8番手。当時の長谷川健太監督（現G大阪監督）は紅白戦や練習試合でサイドバックやボランチで起用した。ふてくされても仕方ない扱いだが「どのポジションをやらせても一生懸命やる。何が足りないか分かって、オフの間にトレーニングしていた。何に対しても一生懸命で、どこで使っても期待以上。ああいうキャラクターはどこでも受け入れられる。あそこまでメンタルが強い選手はなかなかいない。入団4年目か5年目の時に“俺がおまえに教えることは何もねえ”と言ったよ」と回想。「あの年齢でもガンガンに成長している。優勝しても変わらずに頑張ってるほしい。まあ、変わらないと思うけど」と笑った。

興津氏は「頑固な健太さんを認めさせたんだから、どの監督とでもうまくやれるでしょう」と目を細める。

母の富美代さんは「昔から自分の実力よりも背伸びして、成長できそうな環境を選ぶ。滝川二高に進学する時も中学の県選抜のコーチから“レギュラーで出るの難しいよ”と言われたんですが、迷うことなく決めてました。その方がワクワクするんじゃないかな」と語った。



国際Aマッチ通算48得点は釜本、カズに次ぐ日本歴代3位。“8時半の男”として期待されずにプロ入りしたが、30歳を迎えたストライカーは今、間違いなく日本サッカーの中心にいる。

学校教育目標 『 人格を高め、社会に貢献できる生徒の育成 』